

系碕神社新報

第245号

令和8年7月10日

系碕神社

三原市系碕8-10-1

TEL 0848-68-0102

発行 系碕神社事務局

責任編集 宮司 松本 圭

令和八年夏越大祓

今年令和八年も、六月三十日の午後五時三十分から、恒例の夏越大祓を齎行致しました。夏越大祓は、年明けからの半年間に知らず知らずのうちに受けた罪穢れを祓い清めて、今後の半年の無病息災を祈るお祭りです。

今年の六月三十日は火曜日でしたが、平日の夜のお祭りであるにも関わらず、例年通り、大勢の方々が神事に参列されました。午後九時に参列者の輪くぐり神事が終わつた後、海岸に出て、お預かりした人形を海に流して、全ての神事が完了しました。

今年、参列された皆様、有志の皆様には、少し脱線になるかも知れませんが、年の後半の罪穢れはどうしているのか？、といいますが、毎年大晦日の深夜に「除夜祭」を行っています。お寺の除夜の鐘のことは良くご存知と思いますが、同じ趣旨の神事が各地の神社でも行われております。

夏越大祓の準備

系碕神社の夏越大祓では、まず、拝殿前参道に立てた大萱の輪をくぐり、拝殿に上がって茅萱と稲藁で編んだ大縄をくぐる神事が行われます。ここでは、これらの御神具の調製等、祭の準備について。

今年、前年までの猛暑とカラ梅雨の六月とは打って変わって、雨が多くて涼しい普通の梅雨となりました。しかも、作業を予定していた日時には雨は降らずで済みましたが、全体的には、昨年や一昨年よりも捗ったように思います。ただし、いくつか不測の事態にも見舞われましたので、それについても少々お話しさせて頂きます。

○六月十四日(日)

午前九時からお昼前まで、拝殿の大縄くぐりの縄の材料となる、茅萱の刈り取りと雑草との選別を行いました。参列された皆様のご健康をお祈りしております。そして、当日の神事、運営にご協力下さ

を行いました。前宮司と私とで、業務の合間を見ながら前もって少しずつ集めておいたものも含めて、この日までに大縄の材料となる茅萱の調達を完了させました。ご協力頂きました方々に御礼申し上げます。大縄は茅萱と稲藁を材料に使うのですが、稲藁の方は、昨年の秋に中之町の中原賢壮様から奉納頂いたものを使用しました。

○六月二十一日(日)
この日は、集めておいた茅萱と稲藁で拝殿の大縄くぐりの縄を調製しました。全長で二十七、八メートル、大人の腕ほどの太さの大縄です。茅萱と大縄で三本の束を作り、捻り合わせて行きます。次々に束を継ぎ足しては捻り合わせて大縄にして行くのですが、束を作る人が三人以上、捻り合わせる人が四人。但し、捻り合わせは力仕事ですから、交替しながらでなければ続きません。五人は人手が必要です。それだけでなく、捻り合わせによって振れた縄を捌く人、縄の表面から飛び出た「ヒゲ」をハサミで刈り取っている人など、とにかく大勢の人手が必要で、このたびは、総勢二十五名の有志の方々に作業に参加して頂きました。誠にありがたいことです。

作業は午前九時に始めてお昼には完了しました。

この日、暑さのせいで具合が悪くなった方がおられました。救急車を呼ぶほどのことにはならなかったものの、ご辛抱をおかけしました。お見舞い申し上げます。

○六月二十八日(日)

午前九時から十一時頃にかけて、拝殿前参道の前に立てる大萱の大輪の調製・設置、テントの設営が行われました。



祭りの当日、参拝者の方々に新鮮な青々とした大萱の大輪をくぐって頂きたいとの思いで、材料となる大萱は、大輪の調製の当日に刈り集めることにしています。

しかし今年は、大萱の刈り集めが随分と骨の折れる仕事となっていました。私は萱刈りに同行せず、別の作業をしていたので、ここからは聞き書きになります。

毎年、神社の裏の大平山に自生している大萱を刈ってくるのですが、

七月(旧暦)は文月(ふみづき)

文月(ふみづき、または、ふづき)の語源については、二つの説が有力です。

- ・新暦でいうとおおよそ八月頃にあたり、稲が実り始める月「穂含月(ほふみづき)」が転訛した。
- ・昔、七夕に書物を広げて干す習慣があり、「文披月(ふみひろげづき)」と呼ばれるようになり、それが文月になった。

あいにく、河川改修工事が行われていることに伴い、太平山に登る道の入口付近が通行止めになっており、神社から直接登ることができません。そこで、車をグルッと遠回りさせて大平山に登る道に入ったのですが、途中で木が倒れて道を塞いでしまっていました。めったに人が通ることがない道ですので、前日までの大雨のせい、それよりも前に木が倒れたのかはわかりません。いずれにしても、かくなる上は致し方なしで、車を降りて大萱の自生地まで徒歩で登って刈り取り、大萱を担いで車を停めた所まで道を下ったのだそうです。大変苦勞様でした。

その他の作業は順調に進み、午前中に全ての作業が完了しました。誠にありがとうございました。

○ありがとうございました

このたびの夏越大祓の準備とお祭り当日の運営には、延べ人数にして約六十名の方が協力下さいました。また、各町内会の取りまとめの方々、^{ひとがた}それぞれの町内会の皆様、^{ひとがた}形(形代)を配布して下さいました。そして、お祭りの前に、田中運輸(株)の有志の方々、門前の参道公園の草刈りに来て下さいました。



糸碓神社は本当に多くの方々の力によって支えられているのだな、と改めて痛み入っている次第です。また、そのような神社にご奉仕させて頂いている自分果報者だよな、と感じ入っております。このたびも、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

○奉仕等

○旧三菱三原病院建屋解体

三菱三原病院が三原赤十字病院と統合され、三菱三原病院の方が閉院となつてから四年余りが経ちました。このたび、建屋の解体が始まることとなり、六月十五日(月)、工事に先立つての建屋の清め祓え・安全祈願祭が斎行されました。

思えば、この建屋で、とてつもない数の赤ちゃんが生まれ、そして、傷を負い、或いは病を患った数え切れないほど多くの人々が癒やされ、救われたことでしょう。無数のドラマが紡がれたことと思います。

工事を担う人々の安全を祈願するとともに、長きに亘ってお見守り下さった皆様たちと、かつてこの病院で働いていた全ての人々に感謝の誠を捧げて神事に^{ご奉仕}致しました。万感胸に迫る思いを抱く中、いよいよ、本当のお別れでございます。

○松浜地区埋立工事安全祈願

尾道糸崎港松浜地区の埋立工事が、何段階にも区切つて、都度、環境影響評価を行いながら、慎重に進められています。このたびは、埋め立てられる海底の地盤と陸地とを仕切るための矢鋼板を岸辺に打設する工事が始まることとなり、六月十八日(木)、安全祈願祭が斎行されました。

糸碓神社御神前での安全祈願のあと、埋め立てられる海岸まで行つて、大海原を支配し給う大綿津見大神(おおわたつみのおかみ)様に、御神酒を捧げてお祈り致しました。



○住吉神社総代会

六月十七日(水)午後七時から、松西公民館にて行われました。

○福寄地神水無月祭

七月十二日(日)午前十一時～

○正分荒神社水無月祭

七月十四日(火)午前十時～

○住吉神社例大祭

七月二十五日(土)、午後三時三十分から例大祭神事、午後四時から住吉ビンゴを実施します。ビンゴゲームは一回のみ行われます。

以上 糸碓神社宮司 松本圭